

材料施工委員会 RILEM 小委員会 RILEM ニュース

RILEM Week in Stuttgart 2001 の概要

独立行政法人建築研究所 本橋健司

1. RILEM Week とは

RILEM (Reunion Internationale des Laboratoires D'essaies et de Recherches sur les Matériaux et les Constructions : 国際材料構造試験研究機関連合) は、材料・構造分野における非営利な国際的研究団体であり、約 80 国から国公立の試験研究機関、大学、企業、個人等が参加している。学術雑誌「Materials and structures」を発行している。RILEM (リレムまたはライレムと発音される) 活動の中心は多くの TC (Technical Committee) 活動であるが、年に 1 回 (原則は 9 月の第 2 週) TC 活動やその他の活動方針を審議するための総会及び関連する委員会が 1 週間の日程で開催される。これが、RILEM Week である。

2. RILEM Week in Stuttgart 2001

2001 年の RILEM Week はドイツのシュツットガルト大学で 9/9 ~ 9/14 に開催された。筆者は日本の National Delegate である独立行政法人建築研究所山内泰之理事長の代理として出席した。今回の RILEM Week での活動を報告する。

1) シンポジウム、ワークショップ等

RILEM Week 中に 2 つの国際シンポジウムが開催された。一つは「Connections between steel and concrete」(9/9 ~ 9/12) もう一つは「Joints in timber structures」(9/12 ~ 9/14) である。共に盛況であり、日本からの参加者も多かった。RILEM Week には多くの研究者が集まるため、期間中に TC 活動に関連するシンポジウムやワークショップが開催されることが多い。

2) TAC(Technical Activities Committee)の会合

9/10 には各 TC の委員長と Bureau (会長、副会長、選ばれた数人のメンバー、事務局) 等により、TAC が開催された。これは、本年から開始されたもので、図 1 に示すように、TAC の下に各 TC の集まった 4 つの Cluster をつくり、それを束ねる委員会が TAC である。この TAC は TC の設置、撤廃の検討や研究活動の方向性を議論するものであり、各 TC の委員長が参加している。

3) Technical Day

9/11 は Technical Day と名付けられた 1 日であり、RILEM 研究活動の報告が中心となる。先ず、TC の活動報告及び意見交換が 7 つの TC について行われた。次に、2001 年の Robert L'Hermite 賞 (RILEM が材料構

造分野における若手研究者に与える賞) の受賞者の講演及び授与式が行われた。更に、今回は、各国における材料構造分野における研究動向に関する報告が行われ、日本(筆者が発表)米国、EU における動向が発表された。

総会の後、研究機関及び企業の代表者 (Titular and Industrial Members) をメンバーとする DB (Board of Directors) 設立のための第 1 回会合が開催された。DB では、今後、材料構造分野における世界的な研究動向の報告を取りまとめる予定である。

3) 総会 (General Council)

9/12 には総会に向けて Bureau、MAC (Management Advisory Committee) 等の会合が行われた。MAC は RILEM の運営方針を検討する委員会である。

9/13 に総会が開催された。総会は RILEM の最高議決会議であり、すべての案件が総会で審議、承認される。各国から、National Delegate (研究機関の代表) と National Representative (個人会員の代表) という 2 名の代表者が出席し、議決権を行使できる。日本からは National Delegate である建築研究所理事長の代理として筆者が、National Representative として大濱嘉彦日大教授が出席した。

総会では、National Delegate と National Representative の承認、RILEM Fellow、Robert L'Hermite 賞の選考委員、名誉会員の承認、財政報告、TC の設置及び廃止の承認、TAC の活動報告、MAC の活動報告、シンポジウム、ワークショップの主催、共催の承認、今後の開催予定等の他に、特別の議題として用意された 総会への TC 委員長の出席、DB 設置の承認が行われた。

3. 今後の展望

RILEM では、昨年 Dr. Andrade が会長になって以来、活性化のための組織再編成が行われている。上述した TAC、DB、及び総会への TC 委員長の参加 (次回より) は本年から開始されたものである。

また、総会で設置が承認された新しい TC の中には大濱日大教授を委員長とする「光触媒に関する TC」と榎野紀元前橋工大教授を委員長とする「エコ材料・システムの TC」が含まれている。更に、2004 年 9 月には RILEM Week が日本で開催されることも決定しており、日本からの RILEM 活動に対する積極的な参加が期待されている。

本橋健司 (もとはしけんじ) / 1952 年埼玉生まれ / 東京大学 / 建築材料 / 博士 (工学) / 農学博士 / 共著に「塗装・吹付け工事」、「日本住宅性能評価基準・評価方法基準・技術解説 2000